

令4 高等学校福祉 (4枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

(1) ピアジェによる発達段階の分類において、5歳の属する段階として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 感覚運動期 イ 形式的操作期 ウ 前操作期 エ 具体的操作期

(2) (1)の発達段階の特徴として誤っているものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 視覚と手の運動の協応動作が成立する段階である
イ 物やできごとの特徴的な象徴(サイン)を使うことができ、積み木やごっこ遊びなどがみられる
ウ 同じ数のおはじきを間隔を広げて置きなおすと量が増えたと答える
エ 無生物の対象に対して、意思や感情があるかのように認識する
オ 他人の視点に立って考えることは難しい傾向にある自己中心性がみられる

(3) ハヴィガーストによる発達課題の分類のうち、乳幼児期、老年期に入る適切なものを、次のア～クからそれぞれすべて選んで、その符号を書きなさい。

ア 生理的安定の達成 イ 社会的責任の達成 ウ 社会的義務の引き受け
エ 日常の遊びに必要な身体的技能の学習 オ 遊び仲間とうまくつきあうことの学習 カ 善悪の区別
キ 価値観や倫理観の形成 ク 身体的能力や健康の衰退への適応

4 下線部dについて、次の問いに答えなさい。

(1) 骨に関する記述として誤っているものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 骨には身体を支える作用や造血作用などがある イ 頭蓋骨はその形状から扁平骨に分類される
ウ 前腕骨は橈骨と尺骨からなる エ 種子骨には骨端と骨幹端の間に骨端成長軟骨板(骨端線)がある
オ 隣の骨との連結部分を関節といい、関節は不動関節、軟骨性関節、可動関節に分類される

(2) 高齢者に多くみられる骨折の種類を2つ書きなさい。

(3) 加齢変化による転倒の原因について、書きなさい。

5 ライチャードによる老年期の性格類型のうち、Aさんの状態について適切なものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。また、その判断をした理由を2つあげなさい。

ア 円熟型 イ 安楽椅子(ロッキングチェア)型 ウ 装甲(自己防衛)型 エ 憤慨(外罰)型 オ 自責(内罰)型

Ⅲ 次の1～12が示す語句として適切なものを、次のア～ヒからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。また、13～15が表している適切な語句を書きなさい。

- 2021年2月1日現在の兵庫県の高齢化率(%)
- 年金から天引きされる介護保険料の徴収方法
- 勤務時に医療保険料と一緒に徴収されている介護保険料の納められている法人名
- 介護保険制度の保険給付の財源のうち、公費の割合
- 都道府県別に設置されている後期高齢者医療制度の運営主体
- 階段状に進行が見られ、感情失禁やうつ症状、不安等が多く見られる認知症
- 認知症の治療として、パッチ剤を1日1回利用する認知症の治療薬名(一般名)
- 認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、必要な医療や介護の導入・調整や、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行う組織
- 都道府県または政令指定都市が指定し、地域における認知症疾患の専門医療機関
- 民生委員のもととなる制度で、1917年に岡山県で設置された制度
- 民生委員の任命者
- 民生委員が地域に認知症の疑いがある人を発見した場合の相談先

ア 社会保険診療報酬支払基金	イ 全国健康保険協会	ウ 後期高齢者医療広域連合	エ 普通徴収	オ 特別徴収
カ 認知症初期集中支援チーム	キ 都道府県障害者擁護センター	ク 認知症疾患医療センター	ケ 濟世顧問制度	
コ 居宅介護支援事業所	サ 保健所	シ 方面委員制度	ス 地域包括支援センター	セ 厚生労働大臣
ソ 都道府県知事	タ レビー小体型認知症	チ 脳血管性認知症	ツ 前頭側頭型認知症	テ ドネペジル
ト メマンチン	ナ リバスタグミン	ニ 1割	ヌ 3割	ネ 5割
		ノ 21.0%	ハ 29.0%	ヒ 35.0%

- 「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けることができる社会」の実現を図ることをねらいとして2015年に策定された施策
- 家族の介護もしくは看護を理由に仕事を辞めてしまうこと(漢字4文字で書くこと)
- 14の対策として整備された制度

令4 高等学校福祉 (4枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

IV 生徒は、デイサービスセンターへ介護実習に行くことになった。あとの問いに答えなさい。

1 次の問いに答えなさい。

- (1) 筋ジストロフィー症の人には登はん性起立がみられる。この動作を説明しなさい。
- (2) 筋ジストロフィー症は、指定難病の一つである。難病法に規定されている難病の定義は4つあり、そのうちの2つは「発病の機構が明らかでないこと」、「長期の療養を必要とすること」である。残る2つを書きなさい。

2 利用者の顔を清拭する場合について次の問いに答えなさい。

- (1) 目の次に拭く部位として拭く順番にア～カを並び替え、解答欄にあわせてその符号を書きなさい。

ア	耳介	イ	額	ウ	頬	エ	鼻	オ	口	カ	顎
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (2) 目を拭く時の拭く方向を解答欄の図中に矢印で示しなさい。

- (3) 目を最初に拭く理由を説明しなさい。

3 介護計画を立てることになった生徒は、担当している利用者とは直接話をしていないが、その利用者が楽しくレクリエーションに参加している姿だけを見て、レクリエーションでの介護計画を思いつき立案した。その計画案をみた施設実習指導者から「本当にそれが適切なのか。」と言われ、悩んでいた。あなたは巡回指導教員として問題点をあげ、その問題点について生徒に気づきを促すような指導をどのようにするか、具体的に書きなさい。

V 学習指導要領(平成30年告示)について、次の問いに答えなさい。

1 次の文章は、解説に記載されている福祉科改訂の要点のうち、内容の改善(各科目について)を示したものである。文中の空欄(①)～(⑤)に入る適切な語句を書きなさい。

ア 福祉ニーズの高度化と多様化への対応

- ・介護福祉士養成課程の見直し(平成23年)により追加された喀痰吸引・経管栄養を安全、適切に実施するため、「生活支援技術」の内容に(①)を追加した。
- ・(②)を実践することに対応するため、「社会福祉基礎」の(③)においてリーダーシップなど組織についての学習を充実させた。

イ (④)的課題やマネジメント能力・多職種協働の推進

- ・福祉従事者に必要な(④)に関する学習を充実させた。
- ・「介護福祉基礎」、「コミュニケーション技術」、「生活支援技術」、「介護過程」、「介護実習」において、多職種協働に関する学習を充実させた。

ウ 福祉・介護の場におけるICTの進展への対応

- ・「福祉情報活用」を「福祉情報」に名称変更を行うとともに、「介護福祉基礎」、「生活支援技術」、「こころとからだの理解」において、「福祉用具と(⑤)」についての学習を充実させた。

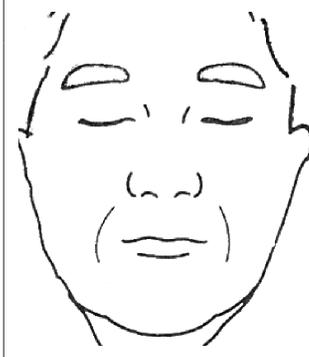
2 次の文章は、解説に記載されている指導計画の作成に当たっての配慮事項である。文中の空欄(①)～(⑥)に入る適切な語句および数字を書きなさい。

- ・福祉に関する各学科においては、「(①)」および「(②)」を原則として全ての生徒に履修させること。
- ・福祉に関する各学科においては、原則として福祉科に属する科目に担当する(③)の10分の(④)以上を実験・実習に担当すること。
- ・「介護実習」や「介護総合演習」における現場実習及び具体的な事例の研究や介護計画作成に際しては、(⑤)に十分留意すること。
- ・地域や福祉施設、産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験活動を積極的に取り入れるとともに、(⑥)を積極的に活用するなどの工夫に努めること。

令4 高等学校福祉解答用紙 (4枚のうち4)

総計		

福祉

I	1	①		②		③		権利名	
	2	の原理			の原理			の原理	
	3	の原則			4		5		
	6	法			7	制度			
II	1	(1) 病院は病床数 () 床以上の施設で、診療所は病床数 () 床以下の施設のこと。(2) 年							
		(3)	①		②		分	③	
	2		3	(1)		(2)		(3)	乳幼児期
	4	(1)		(2)					
	5	記号		理由					
III	1		2		3		4		5
	7		8		9		10		11
	13			14		15			
IV	1	(1)							
	2	(1)	→	→	→	→	→		
	3	(3)							
	(2)								
V	1	①		②		③			
		④		⑤					
	2	①		②		③			
		④		⑤		⑥			

I

II

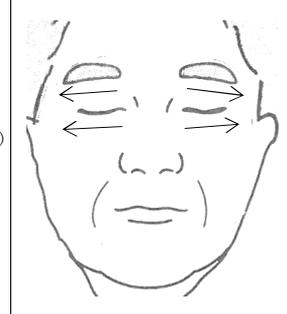
III

IV

V

令4 高等学校福祉 模範解答

総計
200点

I	1	①	健康	②	文化的	③	最低限度	権利名	生存権			
	2	国家責任の原理		無差別平等の原理		最低生活保障の原理		保護の補足性の原理				
	3	必要即応の原則		4	ウ	5	エ	オ				
	6	生活困窮者自立支援法			7	生活福祉資金貸付制度						
II	1	(1)	病院は病床数（20）床以上の施設で、診療所は病床数（19）床以下の施設のこと。					(2)	6	年		
		(3)	①	ア エ オ カ	②	30	分	③	(介護) 予防	生活支援		
	2	阪神・淡路大震災		3	(1)	ウ	(2)	ア	(3)	乳幼児期 ア カ 老年期 ウ ク		
	4	(1)	エ	(2)	大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折		橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折					
		(3)	筋力の低下、平衡機能の低下、敏捷性の低下、視力低下、認知症									
5	記号	ア	理由	老年期の現実を受容している			現在の生活や人間関係に満足している					
III	1	ハ	2	オ	3	ア	4	ネ	5	ウ	6	チ
	7	ナ	8	カ	9	ク	10	ケ	11	セ	12	ス
	13	新オレンジプラン		14	介 護 離 職	15	介護休業・介護休暇					
IV	1	(1)	手を床につき、臀部が持ち上がったところで手を膝に当てて立ち上がる動作のことをいう									
		(2)	治療方法が確立していない				希少な疾病である					
	2	(1)	イ → ウ → カ → エ → オ → ア									
		(3)	顔のどの部分よりも感染を受けやすいため									
3	<p>問題点：思いつきで介護計画を立てた（介護計画は、介護職の思いつきや個人的な意思で作成するものではない）。利用者と話をしていない（利用者の意志の確認ができていない）。一場面をみて計画をたてている（情報収集ができていない）。</p> <p>指導方法：問題点を直接的に指導するのではなく、利用者の様子を聞き出しながら、情報収集・意思確認ができていないことを気づかせる。介護過程の各展開過程における留意点を思い出させることで、介護計画立案の視点を思い出させる。</p>											
V	1	①	医療的ケア		②	チームケア		③	社会福祉援助活動			
		④	倫理		⑤	介護ロボット						
	2	①	社会福祉基礎		②	介護総合演習		③	総授業時数			
		④	5		⑤	プライバシーの保護		⑥	社会人講師			

32

60

45

30

33